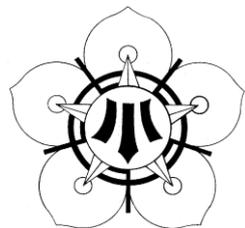


地域と家庭と学校が一つになって子供を育む…それが“チーム七小”です！



福生第七小学校ホームページ

<http://fussa-7e.hs.plala.or.jp/>

くさぶえ

福生市立福生第七小学校

令和4年度 学校だより

発行責任者

校長 山岸 史子

所在地

福生市北田園一丁目1番地1

令和4年12月1日 発行

言葉に表し伝え合う

校長 山岸 史子

12月の到来とともに気温も下がり、冬らしい寒さがやって来ました。

運動会・学習発表会は、保護者の皆さん、地域の方々のご理解とご協力のおかげで、無事開催することができました。ありがとうございました。

運動会は観客数の制限をせず、できる限り多くの方々に子どもたちの成長と頑張る姿を見ていただけるようにすることを重視しました。子どもたちはやはり、保護者の皆さんをはじめ多くの方に見に来ていただき声援と拍手をもらったとき、力を発揮し、すてきな表情を見せてくれました。

学習発表会は久しぶりに全校児童が体育館にそろい、合唱・合奏を鑑賞し合うことができることを重視しました。一堂に会したことで、社会的立場を認識した望ましい行動を考えられたように思います。特に上級生は下級生に温かい眼差しと拍手を送り、下級生は上級生への憧れを抱き、互いに称え合う姿は、学校に集い学ぶ意味を改めて感じさせてくれました。

まだまだ感染症予防対策を取らない訳にはいかない中で、状況の推移を見ながら何を優先して行うかを職員で繰り返し繰り返し検討を重ね、絞り出した苦肉の策…。

そのため、来てくださる皆さんにご負担をおかけしてしまうことには心苦しい限りですが、そんな中でも温かいお言葉をかけていただき、励みになっています。

また、感想の中に、「こんな工夫はどうですか」、「こんなふうにもできるのでは」とアイデアをくださる方もいらっしゃいました。ご不便をおかけしたであろう中でも、私たちと同じ気持ちで大勢の子どもたちのことを考えてくださっていることに、大変心強くありがたいことだと思っています。本当にありがとうございました。

さて、大きな行事に限らず、日々身の回りで起きる事柄について、きっとご家庭でお子さんとも話題にしてくださっていることと思います。子どもたちはそれを聞き、感じ取り、様々なできごとをどのように解釈して、自分にとってどのようにして意味があるものにしていくのかを日々学びとっています。学校の中、子ども同士の遊びの中では、それが生かされて関係性が築かれていっています。

もし、目まぐるしい日常の中ではなかなか子どもと「話し合う、語り合う」時間をもてないなあと思う方がいらっしゃいましたら、そんな時間を作っていただきたいです。子どもは、大人（特に親御さん）に話を聞いてもらうことや大人の話聞くことを求めています。きっと、価値観、生き方を育てていく時間となります。

これからも、私たちは授業と同じくらい、子どもたちとの会話を大切にしていきます。

学習発表会后、会場片付けを
してくれている6年生の皆さん

